

# へきけんニュース

2003年2月14日発行 第33号

北海道教育大学へき地教育研究施設  
〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地  
TEL:0126-32-0208 FAX:0126-32-025  
E-mail hekiken@iwa.hokkyodai.ac.jp

## へき研ワークショップ開催のお知らせ

### へき地・複式教育における教員研修のあり方

～ 教員養成大学の役割をさぐる～

**趣 旨** 北海道におけるへき地指定校の比率（小学校55.3%、中学校50.8%）を見ると、教員がへき地校に勤務する可能性は高い。とは言え、教員配置の実態は、従来から新卒の若い教員が多く、教員養成カリキュラムにない複式学級の指導に大きな悩みを抱えている。また、近年、へき地校勤務を経験していない管理職が増えており、複式の学習指導の継承・発展にも困難な状況が指摘されている。

こうした現況をふまえ、本ワークショップでは、島根県と沖縄県の教員研修システムを学び、学校現場、教育行政、教員養成大学それぞれの立場から、北海道のへき地・複式教育の充実に資する教員研修のあり方を討論する。また、平成15年度から導入される10年目教員研修において、教員養成大学がいかなる役割を担うことができるかについて、講師および参加者からの提言を得たい。

**日 時** 平成15年2月27日(木) 午前10時 ~ 午後4時

**会 場** 北海道教育大学岩見沢校 大会議室

**進 行** 10:00 ~ 開会  
10:15 ~ 基調講演「へき地・複式教育と教員研修」有馬 毅一郎（島根大学名誉教授）  
11:45 ~ 昼食、休憩  
12:45 ~ 報告  
（1）沖縄県のへき地教育と教員研修  
川口 正一（沖縄県立総合教育センターへき地教育研究室 研究主事）  
（2）北海道のへき地教育と教員研修  
永澤 篤（北海道立教育研究所教育開発部研究研修主事）  
（3）学校現場から見る教員研修の課題  
長塚 好和（紋別市立元紋別小学校長）  
14:30 ~ 討論  
16:00 ~ 閉会

## 紀要『へき地教育研究』第57号の発刊について

諸先生方の御協力を得て、『へき地教育研究』第57号を発刊致しました。本誌は全教官に配付しておりませんので、御希望の先生はへき研事務局まで御連絡ください。

### 目 次

現代におけるへき地教育の特性とパラダイム転換の可能性	玉井 康之
へき地校における英語コミュニケーション能力の形成 - 文法的な文の発話能力の発達をうながす教授支援を中心に -	小山内 洸・遠藤 憲晃
インターネットを利用した学習診断システムの開発 杵淵 信・浅見 信彦・鳥居 隆司・安藤 明伸・紺谷 正樹	
学習情報センター教育のデザイン - 生田原小学校における情報リテラシーの授業実践 -	瀬川 良明・木山 順子
「ふるさと学習」の可能性 - 南芽部町立磨光小学校の事例から -	吉田 正生
北海道東部、標津町における「サケ学習」プログラムの開発( ) - 学生は「サケ体験学習」の体験をどう受けとめたか -	齋藤 里奈・高嶋 幸男・小宮山英重
へき地・小規模校における不登校へのアプローチ - へき地・小規模校への転校事例を通して -	久能 弘道・佐藤 美鶴
北海道の小規模小学校の特性を生かした「音楽」の教材及び指導方法の開発 尾藤 弥生・佐々木 茂・大森 武治	
道東へき地校における造形教育教材開発 - 根室市立齒舞中学校の大漁旗制作を通して -	佐々木 宰・亀岡 朗子
へき地指定学校における技術科教育実践の実態調査研究 - 北海道南部と北部のへき地指定中学校の実態比較 -	阿部 二郎・佐藤 廣賢・松本 啓資
道内の児童生徒の衣生活実態に応じた被服教育の提案 - 1991年と1998年の調査の比較から -	小松恵美子・森田みゆき・藤本 尊子
中学校における衣生活についての授業の改善	伊藤 理恵・森田みゆき・藤本 尊子
「総合的な学習の時間」の実施上の問題点とその対処について - 北海道教育大学附属札幌小学校および中学校における事例 -	小路 徹・三木 直輝・氣田 幸和・並川 寛司・渡部 英昭
オホーツク交流圏の史的形成過程 - ロシアの進出後のオホーツク交流圏と日本 -	宮崎 正勝